

研究タイトル： 地域社会の課題と工学を結ぶ



氏名：	須田 孝徳 / Takatori SUDA	E-mail：	suda@tomakomai-ct.ac.jp
職名：	特命教授	学位：	博士(工学)
所属学会・協会：	日本経営診断学会、産学連携学会、地域ブランド学会、中小企業診断協会北海道、北海道中小企業診断士会、空気調和・衛生工学会		
キーワード：	経営管理、産学連携、大学発ベンチャー、ビジネスプラン、機械材料		
技術相談 提供可能技術：	ビジネスプラン構築支援、産学連携体構築支援、水素吸蔵合金利用技術		

**研究内容：**

**1. 地域社会との連携**

胆振地域、そして北海道の中核機関となるべく、道内高等専門学校を始め、大学、企業、金融機関、自治体、中小企業支援機関等との連携活動を積極的に行いと考えております。

たとえば以下のような活動を視野に入れております。

(1) 高専が知や産業の拠点として社会貢献していくモデルの構築

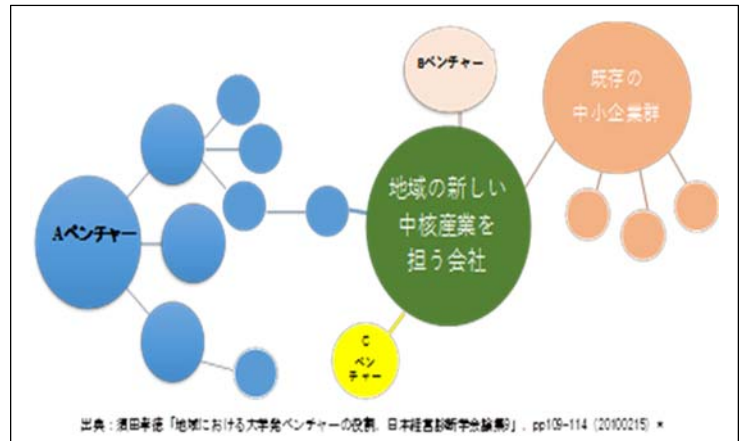
高専が地域の連結ピンとなって、地域企業の支援を関連機関と連携しながら積極的に行い、地域活性化の成功モデルをつくりたいと考えております。そして、様々な成功事例、失敗事例を調査分析ならびに、体系化し、研究成果として種々の機会で発表していきたいと考えております。

(2) オープン・イノベーションの実践

高専の研究シーズを企業や社会のニーズに有機的に結び付けるマッチングを積極的に実施したいと考えております。それにより、企業の新規技術開発に伴うリスクを最小化しつつ新たに必要となる技術開発を加速させ、製品開発までに要する時間を短縮し、競争的優位のある製品開発を是非とも実践していきたいと考えます。

(3) 地域での理系人材の集積

地域に理系人材を残し、そして呼び込み、雇用創出効果の大きいものづくり企業を創出、振興する取り組みを行います。理系人材の集積ができれば、新しい中核産業を起す可能性が高まります。集積できる仕組みについて研究していきます。



**2. 水素吸蔵合金を利用した機器、システム開発**

水素吸蔵合金は、自分の体積の1000倍程度の水素ガスを吸蔵したり、放出したりすることができます。また、温度が低ければ水素を吸蔵し、高ければ放出し、その吸蔵と放出は可逆的な反応であること知られております。このような合金の特性を利用し、水素ガス圧力を利用したアクチュエーターや温度センサーに関する研究を実施しております。

**提供可能な設備・機器：**

名称・型番(メーカー)	